

労働基準広報 2023 No.2134 5/21

CONTENTS

最高裁判例 解説

トラック運転手の残業代の明確区分性《前編》— 6
「熊本総合運輸事件」(最二小 令和5年3月10日判決)

定額残業代が長時間労働抑制と補償を 満たすものか見るべしとの立場鮮明に

(北海学園大学法学部教授・弁護士 浅野高宏)

特集

技能実習・特定技能の中間報告書(たたき台)—— 16
—編集部— 〈技能実習制度〉

技能実習廃止し人材確保・人材育成を 目的とする新制度の創設を検討すべき

●新型コロナ関連の緊急法律相談《第32回》— 34
管理監督者、退職代行への対応、労災保険のメリット制、
新規ビジネスとグレーゾーン解消制度
管理監督者の判断については経営者との
一体性や裁量、待遇等がポイントに
(畔山総合法律事務所 代表弁護士 畔山亨)

●行政案内/令和5年度
全国安全週間実施要綱—— 42
<今年度のスローガン>
高める意識と安全行動
築こうみんなのゼロ災職場

●NEWS ————— 1
◆ 政府「三位一体労働市場改革の論点案」提示/自己都合離職者の給付制限緩和など提言
◆ 東北3県に労働協約地域拡張適用/6月から青森・岩手・秋田県の大形家電量販店に
ほか

●労働スクランブル 第443回 (飯田康夫)—— 46
●わたしの監督雑感—— 54
福岡・福岡労働局労働基準部賃金室長 諏訪田 浩
●今月の資料室—— 56

労務相談室

回答者

募集・採用 [採用面接で家庭状況を知りたい] どの程度まで聞けるか ————— 48 弁護士・平田健二
損害賠償 [重過失で社有車を破損した際の修理費用] 労働者の全額負担は ————— 50 弁護士・新弘江
賃金関係 [毎月の給与支払いの際の振込手数料] 従業員の負担にしたい ————— 52 弁護士・小川和晃